

岡山市指定管理者モニタリング評価シート(令和8年4月実施)

1、基本情報

施設名(所在地)	岡山市ふれあいセンター(岡山市中区桑野715番地2ほか)		
指定管理者名	公益財団法人岡山市ふれあい公社		
指定管理料	904,671,494円	指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
公募/非公募	非公募	対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課名	保健福祉局保健福祉部福祉援護課		
設置条例	岡山市ふれあいセンター条例		

2、事業報告の概要

施設の利用状況	利用者数(3カ年度分記入)(人)		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,417,662	1,421,304	1,458,613
	使用料(利用料)収入等推移(3カ年度分記入)(円)		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	33,068,750	34,731,000	36,351,420
	上記推移の理由等		
	施設の利用促進を目的としたPR活動の実施や情報コーナーのリニューアル等による利用環境の向上に加え、施設を活用したイベントを積極的に開催した結果、利用者数は年々増加している。		
	貸室事業	延べ利用時間:61,580時間、利用者数:309,717人	
	ふれあいバス運行事業	利用者数:8,313人	
	浴場事業	利用者数:35,815人、1日平均利用者数:103人	
	室内温水プール事業	利用者数:12,561人、1日平均利用者数:40人	
アンケート結果及び反映	実施時期	令和8年1月15日から令和8年2月15日まで	
	実施方法	「公益財団法人岡山市ふれあい公社 利用者満足度調査実施要領」に基づき実施	
	結果	貸室、情報コーナーといった各セクションや講座受講生などを対象に実施し、それぞれのニーズを把握した。 総評価としては、概ね高い評価を得ている。(平均8.7点/10点、975件回答)	
	事業等への反映状況	すぐに改善できるものについては即時反映している。なお、それ以外のものについては、次年度の事業に反映予定。	

3、点検結果

評価項目	点検結果	意見、特記事項等
施設の運営及び管理等	○	・設備等の維持管理において、修繕等早急な対応を行っている。契約においては、競争性を担保することを前提としている。 ・計画的な修繕はもとより、利用者の安全な利用を念頭に突発的な設備の故障などにも対応できている。 ・地域包括・介護予防を受託しており、認知症施策などで施設を活用した連携を行っている。
人員配置・人材育成等	○	・岡山県の最低賃金1,047円を上回っている。 ・階層別研修や、人権・交通安全などの定例研修及び契約事務等の課題研修を年間20回以上実施している。
平等利用・利用促進・サービス向上等	○	・一般市民への展示スペースの貸し出しや、情報コーナーを活用した認知症啓発など、施設の活用が図られている。 ・利用者からの声を拾うための常設アンケートBOXを設け、投稿内容は常に確認し、運営に反映させている。 ・年1回各セクションごとにアンケートを実施し、利用者の声を運営に反映させている。 ・HP、SNS(インスタグラム、Facebook)による情報発信のほか、新聞折り込やラジオ・テレビなどを活用した広報に力を入れている。
収支等	○	・会計は事業ごとに管理されており、明確に区分されている。 ・R5年度は赤字決算となったが、R6・R7と黒字となり、中長期的な経営状況は安定している。
安全対策・危機管理等	○	・毎日、施設の定時巡回を行い、異常箇所の確認を行っている。 ・緊急連絡先及び非常時対応マニュアルを職員間で共有し、緊急時の対応ができるよう仕組みづくりを行っている。 ・自衛消防組織を結成し、年2回避難訓練を実施している。
個人情報・情報公開等	○	・個人情報保護に関する規則を定め、規則遵守について研修等で周知徹底している。 ・情報公開規則を定め、情報公開の申し出に対して、規則に基づき適正に対応している。
報告に関する事項	○	・定められた報告について、期日までに提出している。

4、年度評価

市による年度評価
・利用者のニーズに応じた自主事業の見直しや施設の魅力を高めるための取り組みを続け、引き続き安全安心な施設運営を行っていただきたい。 ・施設の維持管理においては、施設の老朽化が進む中、利用者の視点に立った適切な管理と計画的及び応急的な修繕対応が行えている。 ・経営面においては、R6年度に引き続き財団全体で黒字となった。引き続き安定的な経営に努め、適正な施設運営を行っていただきたい。